

# IMPOSSIBLE ARCHITECTURE

インポッシブル・アーキテクチャー

もうひとつの建築史

実現しなかった建物の数々によって紡がれる建築史。それが「インポッシブル・アーキテクチャー」展です。とても情報量の多い、濃厚な展覧会になったと考えています。ここに集められた内外約40人の建築家の中でも、現実と夢の境界を、とりわけ曖昧なものに見せているスリリングな存在が、村田豊（1917〜88）でしょう。ル・コルビュジエに直接師事した日本人建築家として、前川國男・坂倉準三・吉阪隆正の三人はよく知られています。その四人目が、村田豊だったのです。前川國男と同じく新潟市の生まれ、旧制新潟中学を経て、東京美術学校建築科で学び、坂倉準三のスタッフとなります。1957年パリ留学、ル・コルビュジエのアトリエで約二年間働きました。70年大阪万博の富士グループ・パビリオンをはじめ、エアドームによる空気膜構造の先駆者として国際的な注目を集め、磯崎新は村田豊を「夢想する技士」と讃えています（『晩歌集』）。この奇想の建築家の生涯と仕事について、長女である村田あがさん（跡見学園女子大学教授）のお話を聴く機会を設けました。当初は四月に予定されていた講演会でしたが、上越新幹線の運休でやむを得ず中止、このたび再日程が実現したものです。非常に貴重な機会だと思えます。ぜひご参加ください。

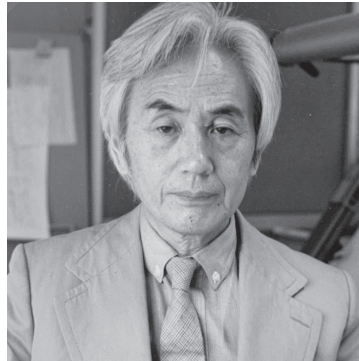
## 記念講演「父・村田豊の建築」

講師：村田あが（村田豊長女、跡見学園女子大学教授）

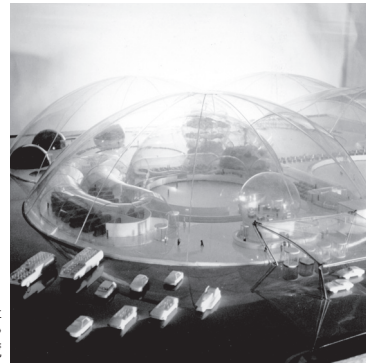
日時：2019年7月14日（日）午後2時～

会場：新潟市美術館 講堂

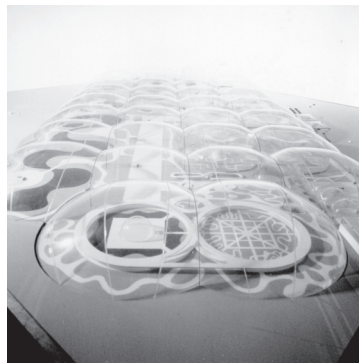
\*約90分、開場30分前、聴講無料



村田豊



（上下とも）村田豊  
《ソビエト青少年スポーツ施設》  
1972年、実現せず、個人蔵



村田豊  
《ソビエト青少年スポーツ施設》  
ソ連政府より依頼を受けた、  
150万㎡におよぶ壮大な提案



村田豊  
《富士グループ・パビリオン》  
1970年大阪万博、現存せず

それは現実ではない  
しかし夢想でもない

## 新潟市美術館

Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9

TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051

http://www.ncam.jp

2019年7月15日〔月・祝〕まで開催中

開館時間 | 9:30-18:00 \*券売は閉館30分前まで

休館日 | 月曜日 \*祝日〔7月15日〕は開館

観覧料 | 一般1,000円、大高800円 \*中学生以下無料